

# 年次大会 新技術活用促進委員会設置

会本部  
士本  
術国  
技中

## 24年度事業計画などを報告

日本技術士会中国本部(福田直三本部長)は13日、広島市中区の広島市文化交流会館で2024年度年次大会を開いた。年次大会には約320人が出席(WEB参加含む)。技術士の資質向上の機会を創出する24年度の事業計画を発表したほか、新たに「新技術活用促進委員会」を設置する

ことも報告された。福田本部長は開会あいさつの中で「われわれの活動は、技術士の会員に對し、CPD行事をはじめとして継続教育の機会を提供することが一番のテーマ。加えて、締結済みの大学・高专との連携協力協定や、官庁や民間団体との緩やかな連携を今後より積極的に展開していく」と述べたほか、「総合知という視点から継続研鑽していきたい」と強調した。

続いて、中国地方整備局の津森真行企画部長や広島県土木建築局の後藤裕司技術企画課長らがそれぞれ来賓あいさつ。その中で、津森企画部長は「技術士という資格は、自信を持って仕事に取り組む1つの起点になるも

の。とても意味がある」と励ましの言葉をおくり、今後のさらなる活躍に大きな期待感を示した。その後、23年度の事業報告や24年度の事業計画などが説明された。23年度はCPD行事実績として197時間(参加者数6160人)を提供。事業計画では、遠隔地でも参加しやすいハイブリッド形式によるCPD行事や会議の開催に向け、積極的にWEB配信を展開することを確認した。また、技術士の存在意義を社会に示す、防災・減災活動をはじめとする社会貢献活動や、25年度に開催する「60周年記念事業・西日本大会」の準備なども盛り込まれた。このほか、中国地方整備局管内における技術情報を対象として、個々の業務で新技術活用促進に向けた自己研鑽を図る「新技術活用促進委員会」を設置することも報告された。

### 年次大会のもよう



公益社団法人 日本技術士会 中国本部  
2024年度 中国本部年次大会・記念講演会